

# TADAIMA RYUSOU

ただいま、りゅうそう。

vol.8 / 2026年6月号



## OKAERI

おかえりなさい



ただいま、おかえり。

## 砂糖線の詩

いやだ いやだよ 砂糖線や いやだよ(瀬名に残る砂糖線の詩)

『庵原郡誌』では、生姜(しょうが)は上等、製茶は中等、砂糖は下等と品質が明記されています。明治初期、瀬名の砂糖の生産量は何十樽という量でした。当時の砂糖は、「しろした」という未製糖で、茶色のあくのある砂糖でした。その後、数十年生産されることがなかったが、太平洋戦争中、砂糖がほとんど手にはいらなくなって、砂糖を練るようになりました。

(中川雄太郎著「村と伝説」より)

現在、サトウキビは掛川地域で経済栽培されています。「よこすかしろ」と言う名称で地域の特産品として有名です。昭和の中ごろに一度途絶えた「よこすかしろ」ですが、「よこすかしる保存会」により平成元年に復活。掛川は日本での栽培の最北限の地と言われています。江戸時代後期から昭和の二十年(戦前)まで瀬名地区で栽培していたサトウキビを、八十年ぶりに栽培を開始しました。サトウキビ栽培最北限の地の「瀬名の白砂糖」が再現できたらいいですね。

砂糖線作業(龍泉院の付近)

作成:いくみ天狗



温もりの場所

## 受け取ったバトンと 静かな覚悟



信頼の経営。

理事長に就任して約一年、この一年を一言で表すとしたら?という問いに、山内章泰さんは「信頼の経営」と答えてくださいました。飾らない、でも深い言葉だと感じました。

信用金庫マンとして三十年。お金の現場を知る人間が、なぜ「信頼」という言葉を選んだのか。その答えを聞くうちに、山内さんという人の輪郭と、理事長として挑む仕事への覚悟が少しずつ見えてきました。

今月号は、山内理事長へのインタビューから、亀爪園の一年を振り返り、未来を見つめます。

## 目次 contents

受け取ったバトンと静かな覚悟	3
山内理事長インタビュー	
おさんぽMAP	6
RYUSOUの四季(令和七年)	8
ホームページリニューアルのお知らせ	10
実習生報告レポート	11
新入職員紹介	12
グッジョブサンクス表彰の話	13
フォトコンテスト紹介	14
RYUSOU ANIMAL FAMILY	15
RYUSOU やさしいキッチン	16
ほっこりエピソード拡大版	17
お知らせ 編集後記	18

## 信頼の深まり

「信頼の経営」という言葉が生まれた背景には、山内さんの信金時代の経験がありました。

「信金時代の業務でお金を貸す仕事をしているときは、人を百パーセント信じちゃいけないって思うようになってるんですよ。」

信金時代、山内さんはお金の現場で様々な人間模様を見てきました。誠実な人が追い詰められる瞬間も、その中にはありました。人を責めることはできない、でも百パーセントは信じきれない…。長年の経験からいつしかそんな感覚が身に染みついていったといいます。だからこそ、亀爪園に来たとき、山内さんはとても驚きます。

「職員を見ていると、この人たちは全部任せられると思えてくるんです。正規も非正規も関係なく、利用者さんのことを考えている。」

理事長に就任した直後、山内さんは本当に不安でいっぱいだったと言います。中野さんという相談相手がいなくなり、役員との関係もゼロから作らなければなりませんでした。決めなきゃいけないことはいっぱいあるのに、相談できる人がいない。そんな日々が続いていきます。

転職は、ふと気がついたら物事が計画通り進んでいたこと。職員の皆さんがやってくれていたのです。

「今まで通り、みんなを信頼して任せればいいんだな、と思ったら気が楽になった。」

職員の皆さんや関係している方々への信頼がより深くなった一年でした。



# おさんぽマップ



①竜爪のお地藏様。玄関から川辺に向かう途中で出会います。手作りの帽子と肩掛けが優しさを出しています。



②ロータリーにスロープが新設されました。ここから、川辺に行くことができます。



③川の流れる音に耳を済ませて。鳥の鳴き声や、優しい風に揺れる木々の葉音を聞きながら、ゆっくりとお過ごしください。



④園内には季節の草花達があちこちで育っています。それぞれの季節ならではの景色をお楽しみください。



⑤長尾川を上流に進んだ先に、ベンチがあります。竜爪山と川をゆったりとのんびりと眺めることができます。

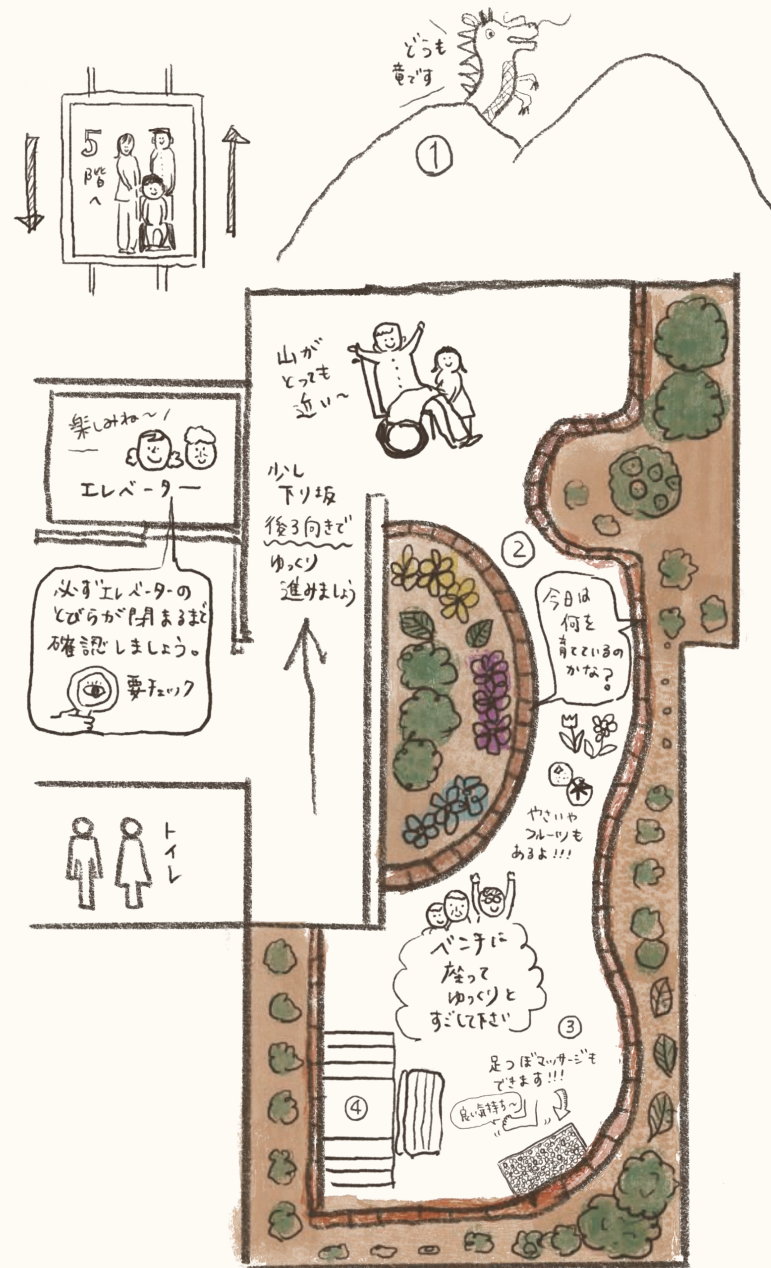
## 歴史を感じる川辺コース

### 車イスの方へ

坂道をそのまま進むと車イスに座っている方が転落する恐れがありますので、必ず**後ろ向き**で下がっていただくようお願いいたします。



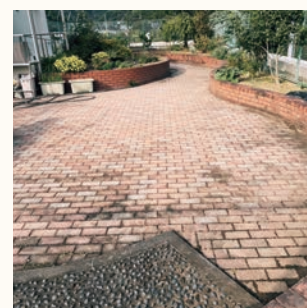
「ただいま」と「おかえり」が行き交う場所。竜爪園には、三つの散歩コースがあります。今回は、そのなかから二つのコースをご紹介します。マップは随時配布しておりますので、お気軽にスタッフへお声がけください。



①晴れた日は竜爪山もしっかり見えます。竜爪山の名前の由来となった「竜の伝説」について、お話ししたりするのはいかがでしょうか？



②花壇には、竜爪ファミリーの皆様と一緒に植えた草花もいっぱい。果樹もあつたり、日々の成長が楽しみですね。



③周辺を山と川沿いにある竜爪園ならではの景色です。足ツボマッサージエリアもあります。



④空を眺めながらリハビリタイムにどうぞ。ゆっくりゆっくり自分の体と向き合う時間です。

## 山に近づく屋上コース

エレベーターで5階へ。緩やかなスロープを使って屋上庭園へ出ることができます。季節に合わせて変化する花々、野菜、木々のパワーを深呼吸して感じてください。

竜爪園はたくさんの方に自然に囲まれています。竜爪山はもちろん、徳川家康ゆかりの長尾川。敷地内には、野菜畑や植物達をあちこちで見ることができます。



# 春

- ひな祭り
- 経営方針発表会
- 開園記念日
- 家族会総会

川と山に囲まれた園ならではの四季の恵を一番感じるのが春でしょうか。みんなで外に出てたくさん笑って過ごします。



# 夏

- ジャガイモ掘り
- お盆供養
- 長尾川花火大会

暑くてなかなか外活動ができなくなるシーズンですが、夏の楽しさを満喫します。地域の子ども達との交流も深めていきます。



# 一緒に、笑う。 はしゃぐ。

## RYUSOU の四季

竜爪園ではご入居者、ご利用者の方々と四季折々の思い出を積み重ねてきました。おかげさまで「TADAIMA RYUSOU」も創刊から一年を迎えます。令和7年度も、日々のあたたかなひとときや、季節を彩るイベントの数々を、職員一同心を込めて写真に収めてまいりました。笑顔あふれる一年間の記録を、どうぞお楽しみください。



# 冬

- 餅つき
- 獅子舞
- 節分

あけましておめでとうございます！  
毎日の挨拶の中でも特別な挨拶。  
特別な料理もたくさん登場するのが  
寒い冬のお楽しみですね。

# 秋

- 秋祭り
- 敬老祝賀会
- さつまいも掘り

地域の人たちと一緒に活動するのが多くなります。なんと言っても秋祭りは、スタッフもご利用者も、地域の人もみんなで力を合わせて作り上げるイベントです。





竜爪園では、さまざまな学部の実習生の受け入れを行っています。介護福祉士はもちろん、看護師や歯科衛生士の実習の受け入れも行っています。実習を通して、福祉人材の育成を目指し、受け入れ態勢を整えています。竜爪園の強みである「多職種連携」について学んでいただくために、各職種からのお話の時間を作り、実習生がより多くの情報を得られるようにプログラムを組んでいます。令和七年度は、二十二人の実習生の受け入れを行いました。

部署	学校名	人数	日程(期間)
包括	静岡福祉大学3年(社会福祉士)	1	8/12～9/11
	静岡英和学院大学3年(社会福祉士)	1	8/12～9/16
	静岡福祉大学2年(社会福祉士)	1	2/16～2/26
特養	静岡福祉大学2年(介護福祉士)	1	8/18～9/12
	知的障がい者介護初任者研修(介護)	1	12/2～12/5
	常葉大学健康科学部看護学会(看護実習)	3	11/10～11/13
歯科	中央医療健康大学校(歯科衛生士)	8	5/12～5/14
			5/19～5/21
			6/9～6/11
			6/16～6/18(各2名ずつ)
ソレーナ	常葉大学保育学部(保育士)	2	8/18～8/22
地域福祉	東京福祉大学(社会福祉士)	1	7/22～7/31
	静岡福祉大学4年(社会福祉士)	1	8/12～9/12
	静岡福祉大学3年(社会福祉士)	1	2/16～2/28
	静岡英和学院大学4年(社会福祉士)	1	9/22～10/16

# ホームページ 新装のお知らせ

この場所のこの空気を  
知ってもらいたい



このたび、ホームページを全面リニューアルいたしました。ご利用者やご家族の皆様、地域の皆様、介護の仕事に興味がある皆様にとって、より見やすく分かりやすい情報発信を目指し、デザインや構成を一新しております。施設の取り組みや特徴、リクルート向けの情報などこれまで以上に充実させ、安心して施設の様子を知っていただける内容といたしました。また、スマートフォンやタブレットからも快適にご覧いただけます。今後最新情報を随時更新し、地域に開かれた施設としての役割を果たしてまいります。ぜひ新しいホームページをご覧ください、ご意見やご感想をお寄せください。

<https://www.love.or.jp>



## Ryusou R7年度 グジョブ&サンクスカード 表彰式

グジョブ&サンクスカード表彰は、職員同士がお互いの良いところに気づき、カードにして紹介し合うことで、認め合い・褒め合う職場づくりを目的とした取り組みです。日々の中で感じた「ありがとう」や「すてきな」という気持ちをカードにすることで、相手の良さを伝えるだけでなく、自分自身の“気づく力”も育まれます。

カードを書く人は、周りの小さな変化や良いところに目を向けられる職員として表彰され、書かれた人もまた、周囲に温かい影響を与えた存在として認められます。

この取り組みを通して、職員同士のつながりが深まり、働きやすく、やりがいを感じられる職場づくりにつながっています。



新しい春が来ました。



### 令和7年度 年間チャンピオン

- ★最も多くのカードを提出した部署は【相談部】 年間 104 枚提出
- ★最も多くのカードを提出個人の部は【短期入所生活相談主任 小山 玲子】年間 53 枚提出
- ★最も多くのカードの対象者になった最多対象者の部は【介助員 栗田 雅矢】年間 24 枚対象



四人の出発点は、それぞれ違います。吉村さんは家族が福祉の支援を受けていたこともあり、福祉の世界に興味を持ってきました。小田さんは親に勧められたことがきっかけでしたが、仕事として選択しました。杉本さんは医療の現場で働く母への憧れから、「食」に関わる栄養士という道へ。大学で学ぶうちに、高齢者施設への興味が深まっていき、中端さんは祖母と暮らしてきた日々の中で、自然と高齢の方に関わることに、地域への親しみが育っていったと話します。出発点は違っても、気づけば四人とも「人の暮らしに寄り添いたい」という同じ思いへとたどり着いていました。それぞれの道が、竜爪園でひとつに交わっています。

#### 福祉の仕事を選んだ理由

中端さんは、体験やボランティアで訪れたときに感じた「家庭的なあたたかさ」に惹かれて竜爪園を選びました。小田さんもまた、実習のときの雰囲気忘れられなかったと言います。杉本さんは実際に足を運んでみて、直感で「ここだ」と思ったそうです。吉村さんは、これまでの経験を生かせる場所としての竜爪園を選びました。四人それぞれの入り口は違っても、竜爪園という場所の空気が、気づけば四人を引き寄せていました。

#### それぞれの「出会い」

今年の春、竜爪園に四人の新しい仲間が加わりました。それぞれ異なる道を歩んできた四人。竜爪園を選んだ理由や、これからの想いを聞きました。

これからの私たちが  
よろしくお願いします！



新規入職者（左から、小田さん、吉村さん、中端さん、杉本さん）

「常に学び続ける姿勢を持ち続けたい」と話す吉村さん。様々な現場を歩んできた経験が、その言葉に深みを与えています。小田さんの目標は、ご利用者さんも自分も楽しく過ごせる毎日を作ること。真っ直ぐで温かい言葉です。杉本さんは毎日のフィードバックを欠かさず行い、1年後の自分の成長を自分で確かめたいと言います。中端さんは「はじめてのことばかりですが、頑張りますので支えていただけたら嬉しいです」と、真っ直ぐな言葉で話してくれました。目標も、言葉も、四人それぞれです。でも竜爪園という場所での仕事をし、自分自身の人生を歩みながら、それぞれの花を咲かせていく—そんな予感がしました。

#### これからの目標と素顔

# RYUSOU ♥ ANIMAL FAMILY

my family no.7

今回は、竜爪園ファミリー  
瀧浪さんと  
一緒に暮らしている  
アニマル家族を  
ご紹介します！



パンパンパン！！  
パンはどこ～？

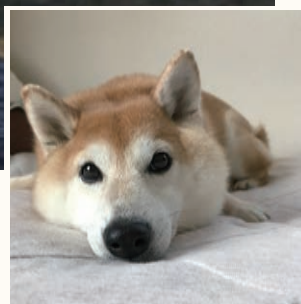
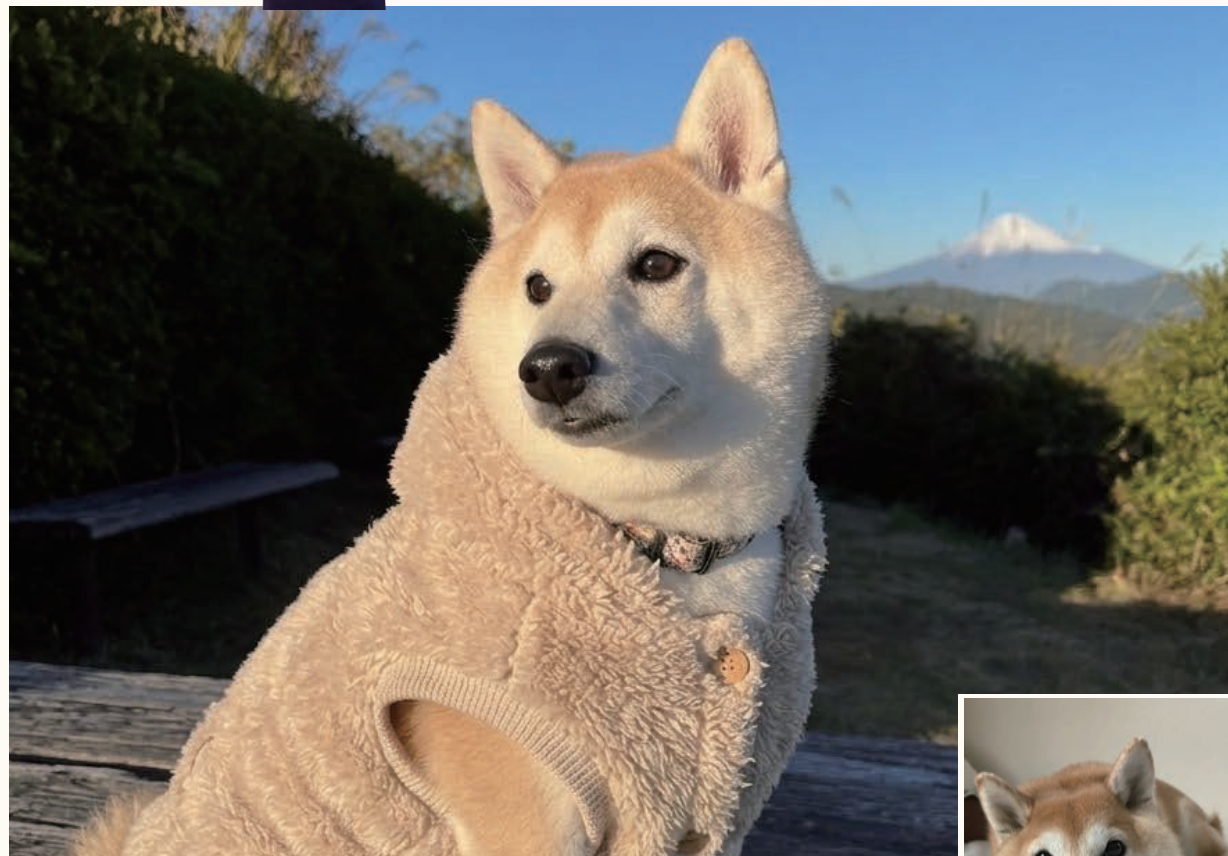


もも  
ちゃん

柴犬

目（アーモンドアイ♡）と、  
ももこのお尻が大好きです。  
可愛すぎます！

職員（RYUSOU FAMILY）の  
日々の疲れを癒してくれる家族を  
ご紹介！愛らしい姿に、皆さんも  
ぜひ癒されてください！



## 「大変だ！」ももちゃん、家族のために大活躍！

もともと動物が大好きで、娘と一緒に  
ペットショップを何件か回っていた  
のがきっかけです。ももちゃん  
と出会ったとき、もう離れることが  
できませんでした。  
2歳のころにアトピーと診断されてか  
ら、病院で購入したドッグフードを  
食べています。好物はパン！アトピー  
なので少ししか食べさせてあげられ  
ないのですが、「ももちゃん、パン！」  
と声をかけると、袋のガサガサとい  
う音だけでも、すぐに飛んできます  
(笑)

私は2階、母は1階でももちゃん  
と一緒に寝ているのですが、ある夜、  
母が夜中に具合が悪くなったこと  
がありました。すると、ももちゃんが、  
誰に頼まれたわけでもないのに、自  
分で2階まで私を呼びに来てくれた  
んです。「大変だ！」と感じてくれた  
のでしょうか。動物の勘というのが  
……本当に驚きました。

## EPISODES

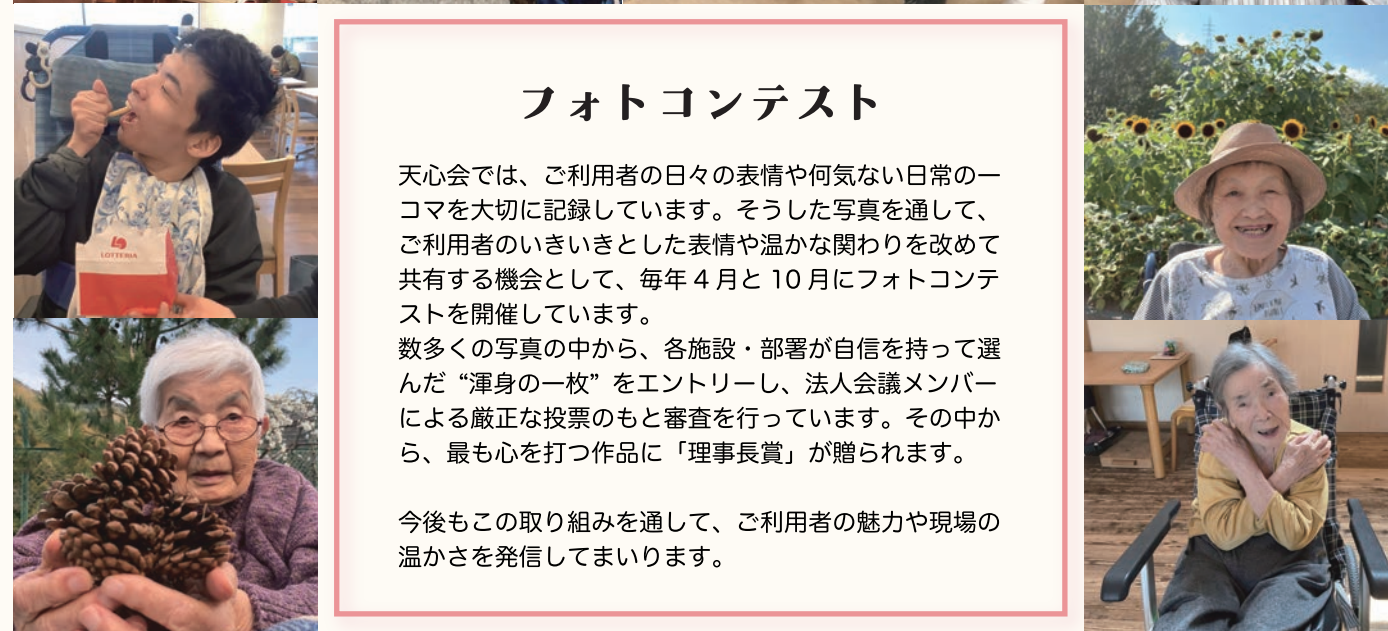


## フォトコンテスト

天心会では、ご利用者の日々の表情や何気ない日常の一  
コマを大切に記録しています。そうした写真を通して、  
ご利用者のいきいきとした表情や温かな関わりを改めて  
共有する機会として、毎年4月と10月にフォトコンテ  
ストを開催しています。

数多くの写真の中から、各施設・部署が自信を持って選  
んだ“渾身の一枚”をエントリーし、法人会議メンバー  
による厳正な投票のもと審査を行っています。その中か  
ら、最も心をつつ作品に「理事長賞」が贈られます。

今後もこの取り組みを通して、ご利用者の魅力や現場の  
温かさを発信してまいります。



体操を元気にやっていると  
元気をもらえます。

同年代のご利用者同士が2人で仲良く  
車椅子で自走されている姿が  
とてもかわいくほっこりします。  
あと二人で楽しそうに笑っているのも癒されます。

朝や昼に車椅子で施設内をお散歩しているご利用者。  
いつも色鮮やかな洋服を着ているので  
『今日もとっても似合ってますね』と声かけると  
『あんたもだよ』とニコッと返事を返して下さいます！  
名前もしっかり覚えてくださり、  
いつも会えると嬉しい気持ちになってます！

あるご利用者が落ち着かないご利用者に  
『おばあちゃん、大丈夫だよ』と  
声をかけて下さりました。  
結構切羽詰まった状態だったので  
私の方が癒される感じでした。  
その時はその言葉で落ち着く訳ではありませんでしたが、  
ここで生活している方同士の会話や対話は  
職員からの言葉とは違った優しさがあり  
いいなあと思いました。

タオルの畳むお手伝いをお願いすると  
『やるよー』と笑顔で言うて下さり  
綺麗に畳んで下さる。

## 義歯確認の際

食事の前に義歯を装着されているか  
確認したいなあと思っていたけど、  
ショートの方で恥ずかしがる人もいて  
どうしようかなあと考えて思いついたこと！  
笑顔のひとつ見せてください！という  
ニコッと笑ってくれて  
義歯の確認もできました。  
笑顔も見れて一石二鳥でした。笑

秋祭りの際、ご利用者が私の7歳の娘に  
笑顔で声をかけ手を取り合ってお話をして  
下さっている場面がありました。お孫さん、  
もしくはひ孫さんと思われたのかは  
わかりませんが、とても和やかで微笑ましい  
ひとときでした。後日、娘から  
『あのおばあちゃん元気？』と聞かれ、  
元気だよと答えると  
嬉しそうにしていました。  
これからも元気で過ごしてください！

ご利用者が荷物がなくなったと心配していると、  
別のご利用者が真摯に寄り添い  
『自分もいるから大丈夫だよ』と  
一生懸命安心してもらおうと話かけている  
優しさにほっこりしました。

あるご利用者からジュースが欲しいと要望がありました。  
ただその時はバタバタして忙しかったこともあり、  
だいぶ待っていて忙しかったこともあり、  
ジュースを持って居室を訪問した時、  
既に本人は自分がジュースを頼んだことを忘れて  
しまっていました。私が『山崎さんの欲しがって  
たものを持ってきましたよ！なんだと思いますか？』  
と聞いてみると真剣な表情で『愛』と返答があり、  
思わず笑ってしまいました。ほっこりです。

ご飯は本当においしいね、と仰って食べて下さる。  
『あなた手が白いね』といつも言って下さります。

## 美味しいは生きる力

美味しさをみんなで楽しむ

似合うかしら？  
楽しいわ〜！

茶娘になりました♪



静岡と言えば  
お茶よね！美味しいわ



季節を感じながら、皆さままで楽しいひと  
ときを過ごすことができた新茶会となりま  
した。

五月初旬、新茶の季節にあわせて「新茶  
会」を開催しました。当日は、職員が茶娘  
に扮してご利用者のもとを回り、一杯ずつ  
心を込めて新茶をお淹れしました。  
今年の新茶は甘みが感じられ、「やっぱ  
り新茶は違うね！」と嬉しそうに話される  
ご利用者の姿が見られました。  
また、ご利用者の中には茶娘の衣装を着  
て参加して下さる方もおり、嬉しそうな  
ご様子に、周囲の職員も思わず笑顔に。会  
場は和やかで温かな雰囲気になっていま  
した。

## 自宅で挑戦！

### 厨房人気メニュー 胡瓜とあさりの酢味噌和え



#### 《作り方》

- ①きゅうりをスライスして塩でもんで置いておく。
- ②生わかめは洗って汚れを落とし、鍋にお湯を沸かし、茹でる。ザルに上げて水気を切り、食べやすい大きさにカットする。乾燥わかめを使用する場合は、水に戻して水気を切る。
- ③きゅうりをしぼり水気を切る。
- ④調味料Aをよく混ぜ合わせる。
- ⑤きゅうり、わかめ、あさり、4（調味料A）を和える。

#### 材料（4人分）

- きゅうり 2本（約200g）
  - 食塩 少々
  - 生わかめ 10g  
（乾燥わかめの場合は1g）
  - あさりの水煮 36g  
（小さい缶詰 約半分）
- A
- 穀物酢 大さじ1
  - 白みそ 大さじ1と1/2
  - 上白糖 大さじ2
  - 本みりん 小さじ1/2

#### 《竜爪園ポイント》

- \*きゅうりを塩もみしてから良く絞って、水気を切ることで味のしみこみを良くします。
- \*あさりやわかめはお好みで増やしても大丈夫です♪
- \*あさは水煮を使用することで、旬の時期でなくてもあさが食べられます。

## ほっこりエピソード special

竜爪園で働くスタッフと、ご利用者との会話の中から生まれた、ココロがほっこりするお話をご紹介します。竜爪園らしい心が温まるエピソードの数々をお楽しみください。

2026年度

# カフェ・ド・ラシーナ Cafe・de・Lacina

毎月  
第4土曜日  
12月のみ第3土曜日

10時～  
11時30分

飲み物代  
100円

毎月第4土曜日、10時～11時半まで開催しています。10時～10時半まで機能訓練士の体操を行い、10時半～11時半まで様々な講師や団体に来ていただき、講義や演奏などを行ってくださいます。子どもからお年寄りまで、地域の人たちが集まり、交流できる場として、カフェ・ド・ラシーナを開催しています。イベントを通して地域の輪を広げるきっかけの場所となるような活動をしていきたいと思っています。現在、毎月25名ほどの参加者が来てくださっています。お時間ある方はぜひ、一度お越しください。



### 開催日

内容※変更することもあります

[6/27 (土)]	相談会、リハビリ体操／フラダンスの発表会
[7/25 (土)]	相談会、リハビリ体操／ケアマネージャーによるお話
[8/22 (土)]	相談会、リハビリ体操／古文研究会・伊久美様によるお話
[9/26 (土)]	相談会、リハビリ体操／川についてのお話
[10/24 (土)]	相談会、リハビリ体操／折り紙を折ってみよう
[11/28 (土)]	相談会、リハビリ体操／琴の演奏会
[12/19 (土)]	相談会、リハビリ体操／自然についてのお話
[1/23 (土)]	相談会、リハビリ体操／介護についてのお話
[2/27 (土)]	相談会、脳トレ／機能訓練士によるお話
[3/27 (土)]	相談会、リハビリ体操／管理栄養士によるお話

開催場所：静岡市葵区瀬名6丁目8番5号 竜爪園デイサービスセンターラシーナ

お問い合わせ：054-265-3838 (担当 竜爪園 地域福祉課：福貴、小林)

## 編集後記

### 今月の編集室より

「TADAIMA RYUSOU」も早らもので創刊号から一年が経過しました。この一年、季節ごとの行事や日々の生活の中で、たくさんの方の笑顔に出会うことができました。それを広報誌として皆様にお伝え出来たことを大変うれしく思います。これも職員の皆様の協力があったからこそだと思います。今回は一年を締めくくる増刊号としてお届けいたします。お楽しみください。これからも、竜爪園の日常の温かさや笑顔を、広報誌を通してお届けしたいと思っています。今後とも宜しく願っています。

広報企画委員 山本 晃弘

一年分の広報誌を  
並べてみました！



<https://www.love.or.jp>

発行日：2026.6.15

## special thanks

ご寄付者様、

ボランティア様のご紹介

恒友会様／すみれ会様／杉山敏子様／矢口美広様  
西沢悦子様／伊久美勝久様／大谷美栄様  
JA 静岡市瀬名女性部様／常葉大学・静岡福祉大学  
静岡県立大学等の大学生・高校生の皆様

ありがとうございました。